

～横浜市立大学 先端医科学研究センター(通称:せんたんけん)は
研究成果を少しでも早く診療の場へ還元するために
橋渡し研究体制の構築を目指します～



参加費
無料

難病の謎を解けるか ～トランスレーショナルリサーチの最新事情～

医学研究を進めるうえでは、患者さんの血液や手術検体など、いわゆる「臨床検体」を用いることがきわめて重要です。大学においてどのような仕組みで臨床検体が使われ、医学研究に貢献しているか、先端医科学研究センターバイオバンク室の役割や橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）の最新事情を紹介します。

講師

横浜市立大学

先端医科学研究センター

トランスレーショナルリサーチ

推進室 准教授

芝田 渉

日時

10/5(水)

18:30～20:00(開場 18:10)

会場

ウィリング横浜

(京急・市営地下鉄「上大岡」駅 直結

ゆめおおおかオフィスタワー12階研修室)

定員 100名(先着順)

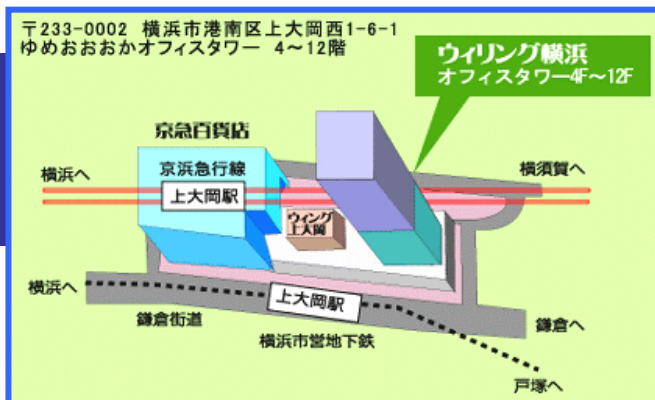
【お申込み先】

公立大学法人 横浜市立大学 地域貢献センター
※お申込み先が変更になりました。

TEL: 045-787-8930

FAX: 045-701-4338

【会場アクセス】



申込受付: 9月12日より開始。TEL、FAX または E-mail にて
お申込み下さい。定員(100名)になり次第締め切ります。

「先端医科学研究センター」とは

横浜市立大学先端医科学研究センターは、横浜市の中期計画に基づき、「がん」や「生活習慣病」、「免疫アレルギー疾患」などの疾患克服に向けて、平成18年に開設された大学の研究施設です。

基礎的研究を推進し、さらにその成果を少しでも早く診療の場や市民のみなさまに還元する橋渡し研究体制の構築を目指しています。特に「細胞」「遺伝子」「タンパク質」の研究分野を中心に、本学の優れた研究活動を支援しています。

本市民講座では、最先端の研究をみなさまにわかりやすくご紹介します。

講座について

タイトル／「難病の謎を解けるか～トランスレーショナルリサーチの最新事情～」

講師／芝田 渉（横浜市立大学 先端医科学研究センター トランスレーショナル推進室 准教授）

日時／平成28年10月5日（火） 18：30～20：00 （受付開始18：10）

講演が60分（休憩10分）、その後20分程度、受講者の方からの質問にお答え致します。

募集／定員 100名

受付／9月12日（月）より開始

TEL、FAX、E-Mailにてお申込み下さい。

先着順に受付、定員100名に達し次第、締め切ります。



お申込みについて

・電話、FAXまたはE-Mailにてお申し込み下さい。お名前、ご住所、電話番号を下記連絡先までお知らせ下さい。

・災害および交通機関ストライキが発生した場合には、講座開催を中止することがあります。講座開催中止の際には可能な限りご連絡いたします。ご不明の点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さい。

・お申し込み後、やむをえず受講をキャンセルされる場合はお早めに下記までご連絡下さい。

※講座の申込みの際にご記入いただきました個人情報につきましては、十分に注意を払い管理し、講座の運営のため使用させていただきます。また、本学から講座の開催のご案内をさせていただくことがあります。

お申込み先：公立大学法人横浜市立大学 地域貢献センター

（※お申込み先が変更になりました。）

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

■TEL：045-787-8930 FAX：045-701-4338

電話受付は月曜日～金曜日（土日・祝日を除く）9時30分～16時30分

■Eメール：exten@yokohama-cu.ac.jp

■ホームページ：http://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/med/index.html